

富岡西高校は夢へのスタートライン!

富西が目指すSSHは“**人財育成**”国際感覚を持った人財を育てます。富西で“**つながる**”“**つなげる**”…「地域」「世界」そして「未来」。

科学的探究活動から地域社会をイノベーション

SSH3年目となる本年4月から8月の取組の一端を紹介します

学校全体での取組

ICT活用による授業改善
(GIGAスクール推進月間の取組) 令和3年6月22日(火)

本校SSHでは、ICTの活用による効果的・効率的な学びをめざす研究を行っています。今回は、本校の池田教諭による理科(生物基礎)の研究授業が行われました。タンパク質合成についての授業を電子黒板と生徒個人用タブレット端末を用いて行われました。MetaMoji Classroomを利用して、DNAとRNAの違いをまとめたり、ClassiのWebテストで本時の学習内容を確認する等、タブレット端末の授業における活用について研究しました。



医療機関との連携 令和3年8月3日(火)

講座名:「介護ロボット体験学習」

講師:高崎 泰規、井田 和美、西岡 祥、井藤 千宏

高齢化社会における医療と福祉に関する研究の一環として、徳島県福祉人材センターのご協力をいただき、「介護ロボット体験学習」を開催しました。今年は、2・3年次の31名の生徒が参加しました。介護の現場にも、ロボットやコミュニケーションツールの導入が進んでいることを実感しました。



中国語講座(1・2年次) 令和3年7月9日(金)、7月15日(木)、7月16日(金)

SSHの国際教育プログラムの一環として、中国語講座を1・2年次全クラスで実施しました。講師に橋本恵理先生をお迎えし、簡単な自己紹介・日常会話の練習をしました。楽しいゲームを通して、中国語の発音の練習やよく使うフレーズを覚えることができました。この講座で学んだことを、台湾の高校とのオンライン交流やペンパルで活かしたいと考えています。



理数科SSでの取組

▶▶▶ 高大連携授業(2年次) 令和3年5月14日(金)

演題:「課題研究の進め方」

講師:鳴門教育大学 准教授 寺島 幸生 先生

理数科2年次を対象とした出張講義を実施しました。研究の進め方のコツである、予想される結論を基に仮説を立てることや、研究計画の立て方、実験データの処理方法等を丁寧に、わかりやすく講義していただきました。



▶▶▶ 令和3年度 全国SSH生徒研究発表会 令和3年8月5日(木)

神戸国際展示場にて令和3年度全国SSH生徒研究発表会 ポスター発表第1部に参加しました。研究テーマは『カビを防ぐ身近な食材の研究』です。自分たちの集大成となる研究の内容を自信を持って発表することができました。また、全国のSSH校にて行われている各研究の発表を聞き、多くの刺激を受けました。



▶▶▶ オンライン講義 令和3年5月26日(水)

講義名:「構想発表会を振りかえって 課題研究を深める」

講師:データ&ストーリーLLC代表 多摩大学大学院MBA 客員教授 横浜国立大学 非常勤講師 柏木 吉基 氏

今回はコロナウイルスの影響により、横浜と徳島をつなぐオンライン講義となりました。SAベーシックに引き続き、今年度ではSAアドバンス(2年次)の一環として、データを活かした課題研究の手法について昨年度に引き続き柏木先生の講義を受けました。2名の生徒に実際に発表してもらい、それについてアドバイスをもらう形で全体へご指導いただきました。今後は、各自研究を深め、9月には中間発表会、12月には最終発表会を行う予定です。



▶▶▶ ワークショップ 令和3年6月23日(水)、6月30日(水)

ワークショップ名:「SDGs de 地方創生」

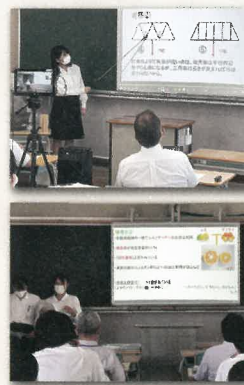
講師:「2030 SDGs」SDGs de 地方創生」公認ファシリテーター 渡邊 芳彦 氏

昨年実施した「2030 SDGs」に引き続き、SAアドバンス(2年次)の一環として「SDGs de 地方創生」カードゲームを行いました。各クラス内で「住民」「行政」の役割を分担し、自分たちの地域が今後10年間でどのように変わっていくのかをシミュレーションしました。一人ひとりの行動が、まちづくりを支えていくということをゲームを通して体験することができました。



▶▶▶ 校内課題研究発表会 令和3年7月20日(火)

理数科3年次による生徒課題研究発表会を行いました。本年度もコロナウイルス感染防止対策のため、参加者を4教室に分散させ、開会式・閉会式はZoom配信を使用し、発表者が4教室を移動し発表していく方式で実施しました。発表会の司会や計時等は、次の発表グループが行いました。SSH運営指導委員、近隣中・高等学校及び1・2年次理数科生は、12班の発表に対し、研究内容に対する疑問点を質問したり、評価したりしました。今回の発表内容は、SSH生徒研究発表会や日本学生科学賞等に出品予定です。



普通科SAでの取組

▶▶▶ NASAコンセンサスゲーム 令和3年5月12日(水)、5月26日(水)

SAベーシックにおいて1年次生が、NASAコンセンサスゲームを行いました。グループで合意形成(コンセンサス)の過程を学ぶゲームです。メンバー全員が納得するために(合意に至るために)どのように意見を伝える・聞くべきなのかを、月面でのサバイバルゲームを通して学ぶことができました。



▶▶▶ オンライン講義 令和3年6月2日(水)

講義名:「データ(分析)を活かすってどういうこと?」

講師:データ&ストーリーLLC代表 多摩大学大学院MBA 客員教授 横浜国立大学 非常勤講師 柏木 吉基 氏

5月26日の2年次生へのオンライン講義に続き、柏木先生にオンラインでご講義いただきました。今回は、SAベーシック(1年次)の一環として、データ分析の必要性やデータ分析の活用方法などについて教えていただきました。2学期には、ワークショップもしていただく予定です。



▶▶▶ NIE教育講演会 令和3年6月23日(水)

ワークショップ名:「高校生のための新聞の読み方 ~新聞を使って考える力を育てる~」

講師:徳島新聞メディアNIE・NIB推進室 寺西 武士 氏

SAベーシック(1年次)の一環として、新聞を読む意義や新聞の特徴、読み方のコツ・スクラップの仕方などについてご講義いただきました。さまざまな情報を組み合わせることで、自分の意見を作る過程についても学びました。

